

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(医・歯・工 ((栄・口・化・光)A1年))

李国勝・客員教授

1単位 前期 月 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語 (1)』)

【授業の目的】 中国語学習の基盤となる正しい発音, 基礎文法を学んだ上で, さまざまな場面を思い描きながら基本表現をゆっくり確実に身につけていく. また, 中国人の考え方, 生活習慣, 中国の文化, 中国の社会事情などについて紹介し, 隣国である中国に対する理解を深める.

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し, 発音練習をした後, 教師と学生, あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き, 会話運用能力を高めていく. また, 中国に関するビデオ教材や CD 等も適宜使用し, 中国事情の紹介をする.

【キーワード】 中国語, ピンイン, 中国事情

【到達目標】

1. 中国語のローマ字表記法 (ピンイン) に慣れ, 正しい発音を確実に身に付ける.
2. 初歩的な中国語を使って, 中国人とコミュニケーションができる.

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 発音 A・B
3. 発音 C・D
4. 第 1 課
5. 第 2 課
6. 第 3 課
7. 第 4 課
8. 第 5 課
9. 中間テスト
10. 第 6 課
11. 第 7 課
12. 第 8 課
13. 第 9 課
14. 第 10 課
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム版①』(朝日出版社)1500 円.

CD があるので必ず購入すること.

【成績評価の方法】 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する. 具体的な点数配分については, 出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が 10%, 中間考査が 40%, 期末試験が 50%ということになっています.

【再試験の有無】 有

【受講者のメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう. 予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい. 繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220954>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 李 .